

2017 年 3 月 3 日

横浜ゴム、2017 年モータースポーツ活動計画

横浜ゴム（株）は 2017 年のモータースポーツ活動計画を発表した。タイヤ事業のグローバル展開の一環と位置づけ、国内外での幅広いモータースポーツ活動を通して、ヨコハマタイヤの認知度向上を図っていく。また、自動車産業およびモータースポーツマーケットの成長発展・活性化に貢献していく。主な活動計画は以下の通り。

■FIA 世界ツーリングカー選手権（WTCC）

2006 年からオフィシャルタイヤサプライヤーを務め、2010 年からはオレンジオイル配合技術により優れたグリップ性能を維持しながら環境性能を高めた「ADVAN（アドバン）」レーシングタイヤを供給している。2017 年は 12 年目のワンメイクタイヤ供給となる。供給タイヤサイズは 250/660R18。今年はモロッコラウンドを皮切りに、欧州、アフリカ、南米、アジア、中東と世界を転戦し、全 10 大会が行われる。日本ラウンドは 10 月にツインリンクもてぎで開催される。



WTCC (2016 年)

■フォーミュラレース

<全日本スーパーフォーミュラ選手権>

2016 年からワンメイク供給を開始した“アジア最高峰のフォーミュラレース”である全日本スーパーフォーミュラ選手権へ ADVAN レーシングタイヤを継続供給する。供給タイヤはオレンジオイル配合技術により優れたグリップ性能を維持しながら環境性能を高めたドライ用の「ADVAN A005」とウェット用の「ADVAN A006」。タイヤサイズはフロント用が 250/620R13、リア用が 360/620R13。



全日本スーパーフォーミュラ選手権(2016 年)

<全日本 F3 選手権>

2011 年からワンメイク供給を開始した全日本 F3 選手権に 2017 年も引き続き ADVAN レーシングタイヤを継続供給、日本で開催されているレースカテゴリーの中で最も長い歴史を有するこのカテゴリーの足元を支える。供給するタイヤはドライ用の「ADVAN A005」とウェット用の「ADVAN A006」。タイヤサイズはフロント用が 200/50VR13、リア用が 240/45VR13。



全日本 F3 選手権 (2016 年)

<Super-FJ>

JAFの地方選手権として、東北から九州までの主要サーキット毎に7つの地方選手権シリーズが設定され、激戦を繰り広げる Super-FJ。2010年から8年目となる2017年も引き続き ADVAN レーシングタイヤを継続供給する。国内フォーミュラカーレースの入門カテゴリーからトップカテゴリーまで幅広く支えていく。

■GT・ツーリングカーレース

<SUPER GT シリーズ>

SUPER GT はメーカーのワークス勢が主力となる GT500 と個性的なチームが競い合う GT300 のふたつのクラスで競われる。GT500 は 2014 年から行われているドイツツーリングカー選手権 (DTM) との車両規則共通化がさらに進められ、各チームともにダウンフォースの低減などを図った新规定に適合した車両を投入する。一方、GT300 は自動車メーカーが製造販売する国際規格の FIA GT3 マシンと日本独自の JAF-GT 車両ならびにマザーシャシーが混在し、国内外のバラエティ豊かな車種が競い合う。

2016 年シーズンは、GT500 で KONDO RACING の「フォーラムエンジニアリング ADVAN GT-R」が2勝、LEXUS TEAM WedsSport BANDO の「WedsSport ADVAN RC F」が1勝を挙げ、横浜ゴムは通算3勝の最多勝利数タイのタイヤメーカーとなった。今年は上記2チームに加え、TEAM MUGEN の「MUGEN NSX-GT」へのタイヤ供給が決定している。GT300 では VivaC team TSUCHIYA の「VivaC 86 MC」がシリーズを制し、ヨコハマタイヤ勢がチャンピオン奪還を達成した。連続チャンピオン獲得を目指して今年も20台を超える多くのヨコハマタイヤユーザーを支えていく。

2016 年と同様にタイ戦を含む全8大会が組まれており各大会で多くの観客動員が見込まれている。



<SUPER GT/GT500>

第3戦と第4戦で優勝した KONDO RACING の「フォーラムエンジニアリング ADVAN GT-R」(2016 年)



<SUPER GT/GT500>

第7戦で優勝した LEXUS TEAM WedsSport BANDO の「WedsSport ADVAN RC F」(2016 年)



<SUPER GT/GT300>

シリーズを制した VivaC team TSUCHIYA の「VivaC 86 MC」(2016 年)

<スーパー耐久シリーズ>

2017年から新たにTCR規定車両で争われる「ST-Rクラス」とFIA-GT4車両で争われる「ST-Zクラス」が追加され、これまでのSTX、ST1からST5の6クラスと合わせて最大8クラスで競われる。FIA GT3マシンからコンパクトカーまでバラエティ豊かなマシンが参戦する。これらのマシンを3、4人のドライバーでリレーして、ピット作業の速さやレース展開に応じた戦術などチーム同士が総力戦で競い合う。2010年にワンメイクタイヤ制を導入し、同年から現在まで横浜ゴムがオフィシャルサプライヤーを務め、8年目のシーズンを迎える。供給するタイヤはドライ用の「ADVAN A005」とウェット用「ADVAN A006」。バラエティ豊かなマシンに合わせて15インチから19インチまで幅広いサイズラインアップを揃えている。

<TOYOTA GAZOO Racing 86/BRZ Race>

同レースのシリーズは誰でも参加できる「プロフェッショナルシリーズ」と一定の戦績を有する選手は参加できない「クラブマンシリーズ」から構成されている。プロは必然的に「プロフェッショナル」への参加となるが、アマチュアはシリーズを選ぶことが可能でプロと同じ土俵で戦ってスキルを磨くこともできる。2017年は全国の主要サーキットで全9大会／10戦が開催される。このうち「プロフェッショナル」は7戦、「クラブマン」は5戦の有効ポイントでタイトルが競われる。

車両はトヨタ・86とスバル・BRZのツーメイクスで、2017年は「プロフェッショナル」はマイナーチェンジ後のモデルに限られる一方、「クラブマン」はマイナーチェンジ前後の全モデルが参戦可能。ただし最低重量で性能調整が施される。タイヤはワンメイクではなく、「プロフェッショナル」は「ADVAN A08B」、「クラブマン」は「ADVAN A052」を使用してチャンピオン獲得を目指す。

<その他>

欧州ではFIAヨーロッパアンツーリングカー選手権、北米ではポルシェGT3カップチャレンジUSA、ポルシェウルトラ94 GT3カップチャレンジCANADA、日本で行われるインタープロトシリーズなど世界各地のレースにADVANレーシングタイヤを供給する。

■ラリー

<全日本ラリー選手権>

2017年も全9戦で競われる全日本ラリー選手権。ターマック（舗装路）では「ADVAN A052」、グラベル（非舗装路）では「ADVAN A053」を中心としたラインアップでユーザーの走りを支える。

2016年はJN5とJN2のドライバー／ナビゲーター（コドライバー）の両部門、JN1のナビゲーター部門でヨコハマタイヤユーザーがチャンピオンを獲得した。2017年も最高峰のJN6に参戦する奴田原文雄選手／佐藤忠宜選手、新井敏弘選手／田中直哉選手をはじめ、より多くのクラスでチャンピオン獲得を狙う。



奴田原文雄選手／佐藤忠宜選手の
「ADVAN PIAA LANCER」(2016年)



JN5クラス2016年シリーズチャンピオンの
「YH クスコ ラリープラス 208 R2」(2016年)

■スピード行事

<全日本ジムカーナ選手権>

2016年はPN2とSA1、ふたつのクラスでチャンピオンを獲得した全日本ジムカーナ選手権。今シーズンも「ADVAN A050」と「ADVAN NEOVA AD08R」に加え、2016年8月発売のストリートスポーツタイヤ「ADVAN A052」の高性能を武器に、多くのクラスでチャンピオン獲得を目指す。



PN2クラスチャンピオンの
「NUTEC IO YH シビック」(2016年)

<全日本ダートトライアル選手権>

「ADVAN A053」をはじめ、軟質路面用「ADVAN A031」や超硬質路面用「ADVAN A036」など幅広い路面に対応したタイヤラインアップを武器に、2016年はPN1、SA1、SC2、Dの計4クラスでシリーズチャンピオンを獲得。今年も多くのかつでチャンピオン獲得を目指す。



Dクラスチャンピオンの
「YH TRUST CUSCO WRX」(2016年)

<ヨコハマ・モータースポーツ・スカラシップ>

横浜ゴムはモータースポーツ振興促進活動の一環として競技参加者を支援する「ヨコハマ・モータースポーツ・スカラシップ2017」を実施している。受付期間は2017年4月30日（当日消印有効）まで。同制度は登録したヨコハマタイヤユーザーを支援する制度で、競技の成績に応じてポイントを付与し、獲得ポイントによってヨコハマタイヤを支給する。対象競技などスカラシップの詳細内容は専用サイト（<http://www.y-yokohama.com/cp/motorsports/scholarship/>）に掲載している。

■その他のレース

<オフロードレース>

SUV用タイヤブランド「GEOLANDAR（ジオランダー）」を擁し、北米地域でのデザートレースやアジアで行われるアジアクロスカンントリーラリーなど海外で開催されるオフロードレースに参戦する。

<カートレース>

国内カートレースの頂点に位置する全日本カート選手権は、最高峰クラスがエンジン規則の変更に伴い名称を OK 部門と改めた。2016 年までの KF 部門に引き続き、この最高峰部門に参戦する。2016 年は第 7 戦、第 8 戦でヨコハマタイヤ勢が準優勝の活躍を見せたが、今年は表彰台トップを狙う。またジュニアカート選手権では 2013 年以来となる FP-ジュニア Cadets 部門にワンメイク供給を行う。

海外でもアジア・カーティング・オープン選手権へのワンメイク供給を継続。またフィリピン、タイなどのサーキットレースに向けて幅広くタイヤ供給を行っていく。



全日本カート選手権 KF 部門 (2016 年)
※2017 年度からは「OK 部門」に改名

今年も世界各国でのヨコハマタイヤ装着チームの活躍を支えていくとともに、モータースポーツ活動で得たデータを市販タイヤ開発に活かしていく。なお、イベントレポートやリザルトは、横浜ゴムのモータースポーツサイト (<http://www.y-yokohama.com/cp/motorsports/>) において随時更新していくほか、横浜ゴム公式 facebook (<http://www.facebook.com/YokohamaRubber>) やツイッター (<http://twitter.com/YokohamaRubber>)、YouTube (<http://www.youtube.com/TheYokohamaRubber/>) などの SNS でも情報を発信していく。

■その他

<YOKOHAMA 100 周年記念ロゴ入りステッカー>

横浜ゴムは創業 100 周年を迎えるにあたり、100 周年記念ロゴマークを製作したが、競技車両に貼り付けるステッカーにも活用する。100 周年記念ロゴマークは YOKOHAMA のアイデンティティでもある「5 本の赤いライン」をモチーフに、100 周年のさらに先の未来に向けて力強く進んでいく情熱を表現した。また、100 の「00」の重なりは、お客様に必要とされるタイヤ・ゴムメーカーであり続けるために皆様とともに次の 100 年を作り上げる姿勢を表現している。



2017 年開催カレンダー

FIA 世界ツーリングカー選手権 (WTCC)

ラウンド	開催日	コース	開催地
1	04/07-04/09	ムーレイ・エル・ハッサン	モロッコ
2	04/28-04/30	モンツァ	イタリア
3	05/12-05/14	ハンガロリンク	ハンガリー
4	05/25-05/27	ニュルブルクリンク北コース	ドイツ
5	06/23-06/25	ヴィラ・レアル	ポルトガル
6	08/04-08/06	テルマス・デ・リオ・オンド	アルゼンチン
7	10/13-10/15	上海国際	中国
8	10/27-10/29	ツインリンクもてぎ	日本
9	11/17-11/19	ギア	マカオ
10	11/30-12/01	ロサイル	カタール

全日本スーパーフォーミュラ選手権

ラウンド	開催日	コース	開催地
1	04/21-04/23	鈴鹿サーキット	三重県鈴鹿市
2	05/26-05/28	岡山国際サーキット	岡山県美作市
3	07/07-07/09	富士スピードウェイ	静岡県小山町
4	08/18-08/20	ツインリンクもてぎ	栃木県茂木町
5	09/08-09/10	オートポリス	大分県日田市
6	09/22-09/24	スポーツランド SUGO	宮城県村田町
7	10/20-10/22	鈴鹿サーキット	三重県鈴鹿市

全日本 F3 選手権

ラウンド	開催日	コース	開催地
1&2&3	03/31-04/02	岡山国際サーキット	岡山県美作市
4&5	04/21-04/23	鈴鹿サーキット	三重県鈴鹿市
6&7	05/12-05/14	富士スピードウェイ	静岡県小山町
8&9	05/26-05/28	岡山国際サーキット	岡山県美作市
10&11	06/23-06/25	鈴鹿サーキット	三重県鈴鹿市
12&13	07/07-07/09	富士スピードウェイ	静岡県小山町
14&15&16	07/28-07/30	ツインリンクもてぎ	栃木県茂木町
17&18	09/08-09/10	オートポリス	大分県日田市
19&20	09/22-09/24	スポーツランド SUGO	宮城県村田町

SUPER GT

ラウンド	開催日	コース	開催地
1	04/08-04/09	岡山国際サーキット	岡山県美作市
2	05/03-05/04	富士スピードウェイ	静岡県小山町
3	05/20-05/21	オートポリス	大分県日田市
4	07/22-07/23	スポーツランドSUGO	宮城県村田町
5	08/05-08/06	富士スピードウェイ	静岡県小山町
6	08/26-08/27	鈴鹿サーキット	三重県鈴鹿市
7	10/07-10/08	チャーン・国際サーキット	タイ
8	11/11-11/12	ツインリンクもてぎ	栃木県茂木町

全日本ラリー選手権

ラウンド	開催日	大会名称	開催地域	路面
1	02/02-02/05	Rally of Tsumagoi	群馬県嬬恋村	ターマック
2	04/07-04/09	ツール・ド・九州 2017 in 唐津	佐賀県唐津市	ターマック
3	04/28-04/30	久万高原ラリー	愛媛県久万高原町	ターマック
4	05/19-05/21	若狭ラリー 2017	福井県おおい町	ターマック
5	06/08-06/11	モントレール2017 in 嬬恋	群馬県嬬恋村	ターマック
6	06/30-07/02	2017 ARK ラリー洞爺	北海道洞爺湖町	グラベル
7	09/15-09/17	RALLY HOKKAIDO	北海道帯広市	グラベル
8	10/13-10/15	第45回 M.C.S.C.ラリーハイランドマスターズ	岐阜県高山市	ターマック
9	11/03-11/05	新城ラリー 2017	愛知県新城市	ターマック

このリリースに関するお問い合わせ先
 横浜ゴム（株）広報部 担当：鈴木
 TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570